

# 例会報告

第2415回例会報告議事録

日時 28年1月26日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ビジター：なし

ゲスト：なし

S.A.A.:高島会員

## 会長挨拶

瀧日会長



柏西RCの増谷さんが委員長のフェロシップ委員会が、趣味の交流会というのを昨年11月から始められました。音楽(鑑賞・演奏)、俳句、刀剣、野球、写真、釣り、ウォーキング(山歩き)、二輪車、四輪車(スポーツカー他)の9つです。丸田幹事が参加して大変楽しかったそうです。

何故こういうことを始めたのか、1月のガバナー月信を読んでわかりました。フェロシップというのは親睦と訳されています。ロータリーの一番もとはフェロシップです。フェロシップというのは仲間作りということです。ロータリークラブが出来た1900年初頭、アメリカ社会というのは商業道徳というものはない殺伐とした状態でした。ロータリーの目的は第一が仲間同士の取引、第二がフェロシップでした。共通の趣味等を持った人間同士の交流が主眼なので、フェロシップ委員会が交流会を始めたのではないかと思います。私は9つの趣味のどれにも該当しないので残念です。交流の輪を広げる良い機会ですので是非参加していただければと思います。

2月14日14:30~16:00にけやきプラザふれあいホールで、先日例会にいらした石原紀子さんが主催のバレンタイン チャリティーコンサートが開催されます。かなりレベルの高い我孫子市布佐中の吹奏楽部の演奏がメインです。ぜひ参加していただけるとありがたいと思います。入場料は無料ですが、多額の募金をして参加していただきますようお願いします。

## 親睦委員会報告

木村委員長

親睦委員会からの報告は、特にございません。

## 出席報告

渡邊委員長

14名出席(全員で24名) 出席率58.3%

## 幹事報告

丸田幹事



・2月9日(火)の例会は2月6日(土)・7日(日)の地区大会に振替になります。

・例会変更のお知らせ

柏西RC 2月12日(金) 休会→2月7日(日)地区大会に振替  
3月11日(金) 任意休会

柏RC 2月10日(水) 休会→2月7日(日)地区大会に振替

松戸中央RC 2月4日(木) 休会→2月7日(日)地区大会に振替

2月18日(木) 会員健康診断の為、移動例会に変更

点鐘：12:30

場所：東葛クリニック病院 旧館

・依田会員のお母様がお亡くなりになり、本日依田会員はお休みされています。家族葬をされるそうです。会の方としては慶弔規定に従ってお渡しする形にしたいと思います。

・1月22日に会長幹事会の新年会が行われました。我孫子RCとしては恒久基金や寄付は個人におまかせしておりますが、柏西クラブさんでは毎年恒久基金として1千ドル納めようということで目標を決めているそうです。柏西クラブさんは財団基金を使ったネパールへの新たな寄付を取り組んでいらっしゃいます。3月11日は任意休会になっていますが、ネパールへ視察、寄付に行かれるそうです。

・50周年記念誌への寄稿を次の方々をお願いいたします。

瀧日会長、松本実行委員長、チャーターメンバーの井上先生、上村晃一会員、高島会員です。

・2月6日(土)・7日(日)の地区大会へのアクセスは次回例会にてご連絡します。



卓話をやっている方のリストを作成しており、まだの方に順次お願いするのですが、ちょっと考えさせてくれとか年寄りをいじめないでくれとか、いろんなリアクションがあり、卓話の手配が出来ないことが出てきます。穴があいた時間はもったいないので、ロータリー文庫から卓話に適した資料を引っ張ってきて皆さんの参考になるようなお話をしたいと思います。

今日は米山奨学会の米山梅吉さんについてお話させていただきたいと思います。

余談ですが、今日の出席者が少ないのは寒いせいなのかなと思います。この土日、千葉県スキー連盟が主催する講習会に参加するため長野県小海町という所に家内と行ってきました。この土日はすごく寒くて日曜日は朝10時のスキー場の気温が氷点下13度、12時になって日が当たっても氷点下13度でした。当然手袋をしているのですが親指と人差し指がかじかんで感覚がなくなりました。今もちょっとおかしいです。スキーもゴルフもなかなか上達しないのですが、がんばってやっていきたいと思います。

ロータリー文庫の中に「米山梅吉とロータリー」という文章が載っていましたので、お話させていただきま。豊中RCの村田善明さんという方が1983年に大阪城南RCの例会で話された卓話を文章で残しているものです。ご紹介させていただきます。

「はじめに

昨年までの米山週間が、今年から米山月間に変更されました。Rotary財団の方は、国際Rotary直営の事業でありまして、各地区ガバナーはRIからその実績を督励されるので、寄付奨励が熱心に行われますが、それにひきかえ、米山奨学会の方は、その正式の名称を正確に答えられるRotarianが果たしてクラブに何人おいでになるやら、はなはだ心もとない状態でございまして、もうひとつ周知されているとは保証しかねるありさまで。その点はクラブの担当委員の方にご努力願うことにいたしまして、きょうは、会長さんのご注文に従って、米山梅吉その人、さらに彼から今日Rotarianである私どもが何を学び取るべきかについて、限られた時間の中で申しあげてみたいと存じます。」

という文章でスタートしています。

「1 奉仕の生涯

米山梅吉は、1868(慶応4)年2月4日大和国高取藩土和田竹蔵・同うたの3男として、江戸は芝田村町に生まれました。」父親は奈良県の出身ですが、梅吉は江戸の港区で生まれました。

「僅か4歳にして父が死去したため、三島神社の神官の娘であった母の実家に引き取られ、土地の資産家米山藤三郎の養子となりました。沼津中学在学中に家出して上京し、東京英和学校(現在の青山学院)で英語を学び、8年間の米国留学後、1897年(明治30年)三井銀行に入り、横浜・大阪の各支店長を経て、1909年常務取締役に進進しました。

1917(大正6)年、目賀田男爵を団長とする政府の財政調査団員として再び渡米、すでにダラスRCの会員であった福島喜三次を知りました。その後、1924年Special Commitionor、1926年RI理事を経て、1928年日本にRI第70地区が設置されると、同年から3期連続して初代Governorに選ばれ、日本Rotaryの基礎づくりを指導しました。

彼は戦前の三井財閥の中枢にあつたのですから、相当の収入があつたと推測されるのですが、その私生活は一汁一菜を信条として質素に徹し、私財を惜しみなく弱者救済・社会事業に注ぎました。」

どういう事業をされたのかというと、

「第一に、優れた素質を持ちながら、貧しさ故に学問を続けることが困難な青年に、匿名で学費を援助した。

第二に、東南アジアからの留学生に物心両面で援助した。

第三に、1924年三井信託銀行の初代社長、32年血盟団事件団琢磨が暗殺された後の三井合名の理事を歴任してきた職から引退して、1934(昭和9)年新設された財団法人三井報恩会の初代理事長となり、救済施設など後半な社会福祉・学術振興に貢献した。

第四に、1937(昭和12)年私財をなげうって緑岡小学校(現青山学院初等部)を設立し、みずから校長に就任して、児童教育に献身した。

米山梅吉は謹厳実直にして、面倒見がよく、公共心篤く、自他を差別しない、真に理想的なRotarianでありました。1938年には貴族院議員に勅撰され、1946(昭和21)年、戦後の日本Rotary復興を見ることなく世を去りました。」

米山奨学会というのは米山さんが自ら作られたのだと思っていたのですが、そうではありませんでした。

「2 米山奨学会の誕生と意義

1952(昭和27)年、東京RCは、「米山基金」を設定しました。これは、米山翁の個人的奉仕の実践を知っていたRotarianたちが、戦後復帰した国際Rotaryにあつて、Rotary財団の盛況ぶりをみるにつけ、わが国と東南アジア各国との関係修復に好適な国際奉仕事業として発想したものであろうと推察されます。」

戦争で非常に迷惑をかけた近隣の東南アジア諸国の人達に報いる為の国際奉仕事業として、東京RCが米山奨学金をスタートしたのではないかと思います。

「1957年第60・61地区のロータリー米山奨学委員会、1960年ロータリー米山記念奨学会を経て、1967(昭和42)年財団法人ロータリー米山記念奨学会が誕生し、その後に全国のRotarianの協力により、す

に千数百名の米山フェローを生み、国際理解の推進に寄与しつつあるのは周知のところであります。」

### 「3 米山翁から何を学ぶべきか

今日の日本Rotaryにとって、米山梅吉の名は、単に日本Rotary史上の人物として、米山奨学会のいわれを説明するためにのみ必要なのでしょう。従来、米山週間の行事として為されてきたのは、米山奨学会の事業報告や、寄付のお願いのほかになにかあったのでしょうか。企業の社会的責任が叫ばれ、三越事件などに見る経営者倫理の低下、不況をよそに役員の高額な退職慰労金や脱税の横行、他方で国際Rotaryの団体奉仕・金銭奉仕重点の傾向が顕著な状況を考えると、この際日本のRotarian一人一人が、改めて米谷翁の生涯とその信条にならない、例会でRotaryの奉仕理念を学び、各自の生き方とすることが、真の米山月間の意義ではないのでしょうか。」と締めくくっておられます。

もう一つ、ロータリー文庫から「卓話について考える」という文章をご紹介します。北村鉄之助という方が書いていらっしゃる。

### 「卓話は何語

卓話という言葉は国語辞典にも漢和辞典にもものっていません。テーブルスピーチの訳だろうと探しても英和にも、和英辞典にも出ておらず、しいて探せば、テーブルトークがありますが、これは食卓での談話、雑談で、スピーチはある目的を持って順序を経て話すことを意味します。一説によれば、卓話は明治の初め福沢諭吉先生の造った言葉とされています。」

### 「外部からの卓話者

東京・大阪等の大都会とは異なり当地区のような地方都市にあっては所謂有名人、著名人を招くことは種々の理由から難しく地域内外から役職の方々や有徳の人々をお呼びする訳ですが、卓話の時間は30分くらいであっても半日を拘束することになるので、クラブとしては丁重な謝意の表示が肝要と思われれます。」

### 「会員の卓話

会員は一応各業種から選ばれた人々であり、それぞれ見識を有する人達ですから、会員の卓話をもっと活発化するべきだと思います。ロータリーに入ると卓話をさせられるそうだと入会を渋る人も時には居り、卓話の順番が延びるとその間食事の味が判らなかつたと語る人も居ります。」しかし大勢の人の前で話すことの訓練には卓話をもってこいではないかとおっしゃっています。

### 「内容の準備

原稿を準備する場合、何分かかるか知る必要があります。最後に会長さんが数分感想を述べる余地を残すわけですが、余り早く終了してしまうと会長が残り時間の消化に苦慮し、反面余り卓話を延長すると俄然会員の顔に不快の色が現れます。話の材料は予定時間より2、3割程度多く用意し、その中から定められた時刻に話を閉じる技術が肝要です。」

### 「聞き手の顔を見る

最初は大変困難ですがつとめて聞き手の顔を見てしゃべるよう努めましょう。癖で天井ばかり見て話す人、あるいは下を向いたまま話す人等色々ですが、猫でも向き合っていると立ち止まったままですが目をそらすと逃げ出します。人間もなるべく顔を見ていないと逃げ出さないまでも興味を半減します。」

次回も卓話の方が入っていないので、入らなければ又、ロータリー文庫からお話したいと思います。

## 姉妹クラブ委員会報告

米田委員長

今月末までに豊原の方に周年記念行事に参加するメンバーの写真を送らなければなりませんので、30日までに私の方に写真をお願いいたします。

## 閉会の言葉

瀧日会長

ロータリーについて意外と知らないことがあります。服部さん、また情報をいろいろ教えてください。

今週の表紙「呼塚河岸常夜燈」千葉県柏市柏下・北柏橋付近

呼塚河岸は江戸時代末期に、成田・鹿島・香取などの寺社へ向う人々の乗船場として、また、米・小麦などの産物の積み降ろし場所として賑わいました。常夜燈は慶応元年(1865年)、呼塚の人たちを中心に近隣10ヶ村の有志によって建てられました。高さは約4メートルあり柏市内で一番高いそうです。かつては大堀川船着き場にありましたが、現在は北柏橋付近に移されています。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。